

5.11. 景 観

5.11.1. 現地調査

(1) 調査項目

調査項目は、以下のとおりとした。

- ・眺望点の状況
- ・景観資源の状況
- ・眺望景観の状況

(2) 調査地点

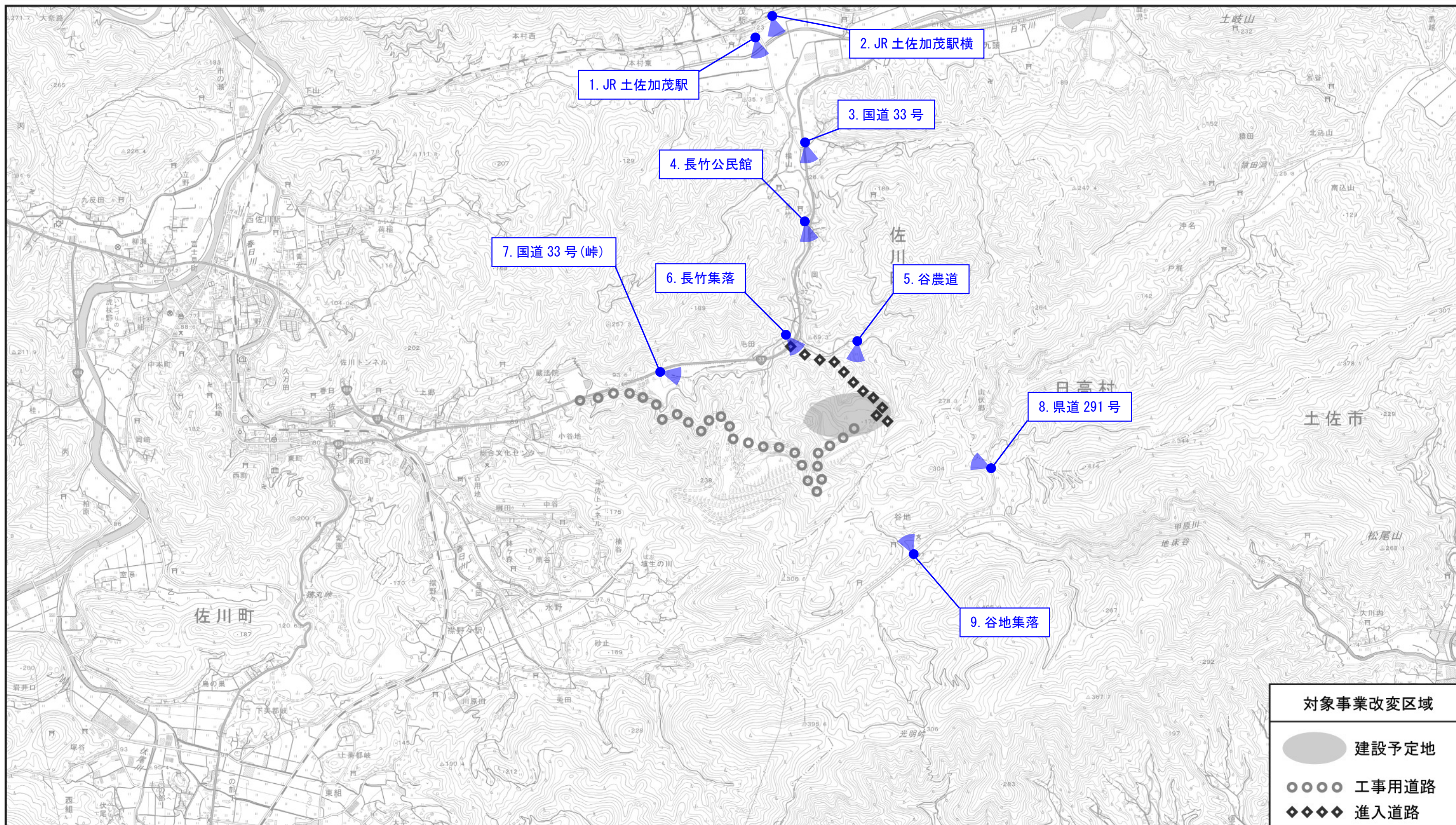
調査地点は以下の方針により設定した。

- ・文献調査の結果を踏まえると、主要な眺望点並びに景観資源は存在するものの、眺望点から景観資源を望んだ場合にその視方向に対象施設が眺望されることはない。
- ・対象施設周辺は、里地・里山が広がっており、優れた景観資源として認められていないものの、地域住民や国道利用者の目に留まる景観が広がっていると考えられ、対象施設の建設によりその景観の姿に影響を及ぼす可能性が否定できない。
- ・以上を考慮し、本調査では、地域住民や国道利用者の視点からの眺望点を選定し、これらが眺望する景観の変化について把握することを目的として実施した。

上記の方針に基づき設定した眺望点と視方向は下表、下図のとおりとした。

表 5.11.1 調査地点（眺望点）

番号	調査地点	対象施設との距離	地点概要
1	JR 土佐加茂駅	2.6km	多数の地域住民が利用する駅の一つ。 改札を出ると正面に田園と緑豊かな山々が広がる。
2	JR 土佐加茂駅横	2.6km	加茂小中学校の通学路であり、学校関係者が多く通行する 県道沿い。道路から南を眺望すると田園と緑豊かな山々が 広がる。
3	国道 33 号	1.7km	国道 33 号を利用する車両からの視点。 南下する際に正面に山が織りなす四季の風景が見られる。
4	長竹公民館	1.3km	地域住民等不特定多数が利用する集会所。 集会所の窓からは里地風景を眺めることができる。
5	谷農道	0.5km	ウォーキングコースの一部にあたり地元住民や観光客が利 用する道路沿い。 里山が織りなす四季の景色を楽しむことができる。
6	長竹集落	0.7km	地域住民の生活の場を想定した視点。対象施設の北側に位 置する。 往来時に目につく山と農耕地が作る景色で季節感を感じる ことができる。
7	国道 33 号(峠)	1.5km	地域住民が佐川市街に向かうために往来する国道 33 号の歩 道。 標高が高く、視点が広がる
8	県道 291 号	0.9km	地元住民と観光客が利用する「四国のみち」に指定された 道路沿い。 道路沿いの山々が四季に変わりゆく景色を楽しむことが できる。
9	谷地集落	0.9km	地域住民の生活の場を想定した視点。対象施設の南側に位 置する。 往来時に目につく山と農耕地が作る景色で季節感を感じる ことができる。



1. JR 土佐加茂駅

2. JR 土佐加茂駅横

3. 国道 33 号

4. 長竹公民館




5. 谷農道


7. 国道 33 号(峠)

6. 長竹集落

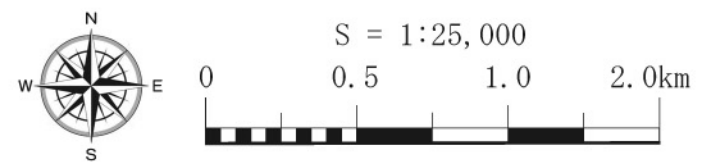
8. 県道 291 号

9. 谷地集落

- 対象事業改変区域
-  建設予定地
 -  工事用道路
 -  進入道路

凡例
 : 調査地点と視方向

図名 図 5.11.1 調査地点位置図(景観)



(3) 調査時期

景観の調査時期は以下のとおりとした。

- ・春季 令和2年4月2日
- ・夏季 令和2年8月14日
- ・秋季 令和2年11月26日
- ・冬季 令和3年2月3日～4日

(4) 調査方法

景観の調査方法は、「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」を基に、表5.11.2のとおりとした。

表 5.11.2 景観の調査方法

調査項目	調査方法
主要な眺望点の状況	既存の文献資料により調査地域内の主要な眺望点を抽出し、主要な眺望点の分布、面積、標高及び利用時期等を把握した。また、現地調査(踏査)により対象道路の視認性を確認した。
景観資源の状況	既存の文献資料により調査地域内の景観資源の分布、面積、標高及び見どころとなる時期等の自然特性を把握した。
主要な眺望景観の状況	主要な眺望点から景観資源を眺望する景観の状況について、対象道路による眺望の変化が想定されるものを選定した後、現地調査において写真撮影を行い、視覚的に把握した。

(5) 調査結果

景観の調査結果は以下のとおりであった。

表 5.11.3 調査結果 (1. JR 土佐加茂駅)

調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況 ・県道 297 号沿い。 ・調査地点は、土佐加茂駅や加茂の里につながる道路沿いに位置している。 ・地点からは、加茂地域に広がる山々と広葉樹と針葉樹が混生する樹林地、その手前の田園が見渡せる。		主要な眺望景観の状況 [春季] 	
主要な景観資源の状況	景観資源 ・加茂地域の里地・里山風景	[夏季] 	
	見どころとなる時期 ・落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・耕作期		
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要 ・地域住民の生活道路として利用され、山地や樹林地、田園の日々の変化を日常風景として目にしている。 ・土佐加茂駅を利用する不特定多数が、山地や田園の四季の変化を見ることができる。	[秋季] 	
	対象施設の視認性 ・対象施設のうち処分場はわずかに視認される。 ・進入道路は視認されない。		
写真撮影の位置と方向			
		[冬季] 	

表 5.11.4 調査結果 (2. JR 土佐加茂駅横)

調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況 ・ 県道 297 号沿い。 ・ 調査地点は、土佐加茂駅や加茂の里につながる道路沿いに位置している。 ・ 地点からは、加茂地域に広がる山々と広葉樹と針葉樹が混生する樹林地、その手前の田園が見渡せる。		主要な眺望景観の状況 [春季] 	
主要な景観資源の状況	景観資源 ・ 加茂地域の里地・里山風景	[夏季] 	
	見どころとなる時期 ・ 落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・ 耕作期		
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要 ・ 地域住民の生活道路として利用され、山地や樹林地、田園の日々の変化を日常風景として目にしている。 ・ 土佐加茂駅を利用する不特定多数が、山地や田園の四季の変化を見ることができる。	[秋季] 	
	対象施設の視認性 ・ 対象施設のうち処分場はわずかに視認される。 ・ 進入道路は視認されない。		
写真撮影の位置と方向			
		[冬季] 	

表 5.11.5 調査結果 (3. 国道 33 号)


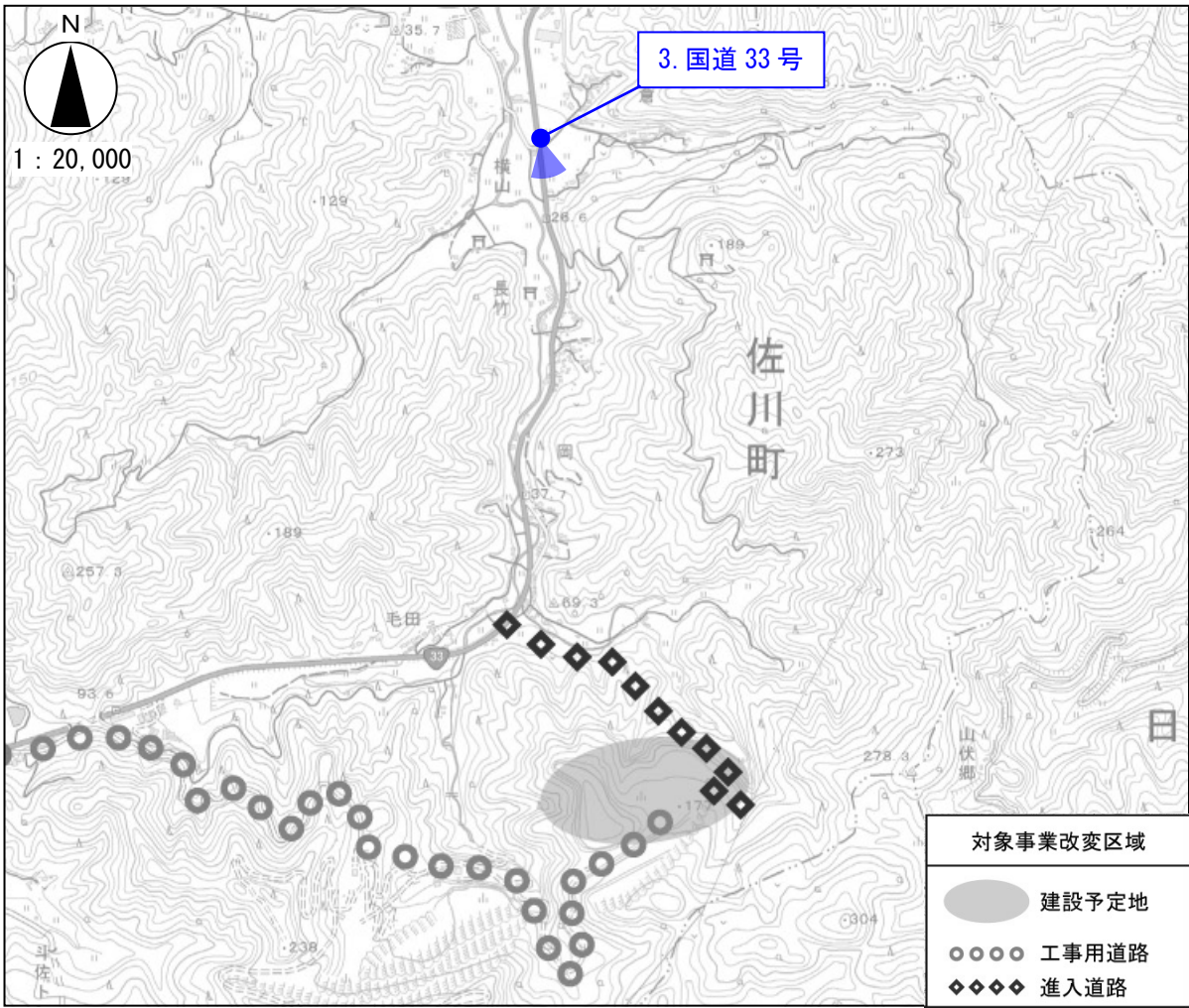

調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況		主要な眺望景観の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 33 号沿い。 ・ 調査地点は、市街地と集落を結ぶ主要道路沿いに位置している。 ・ 地点からは、国道沿いの丘陵と北斜面の広葉樹と針葉樹が混生する樹林地、その手前の耕作地が見渡せる。 		[春季] 	
主要な景観資源の状況	景観資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横山・長竹地区の里地・里山風景 	
	見どころとなる時期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・ 耕作期 	
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の生活道路として利用され、山地や樹林地、谷津田の日々の変化を日常風景として目にしている。 ・ 不特定多数が国道を利用し、車窓から木々の四季の変化を見ることができる。 	
	対象施設の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象施設（処分場、進入道路）は視認されない。 	
写真撮影の位置と方向			
		[夏季] 	
		[秋季] 	
		[冬季] 	

表 5.11.6 調査結果 (4. 長竹公民館)

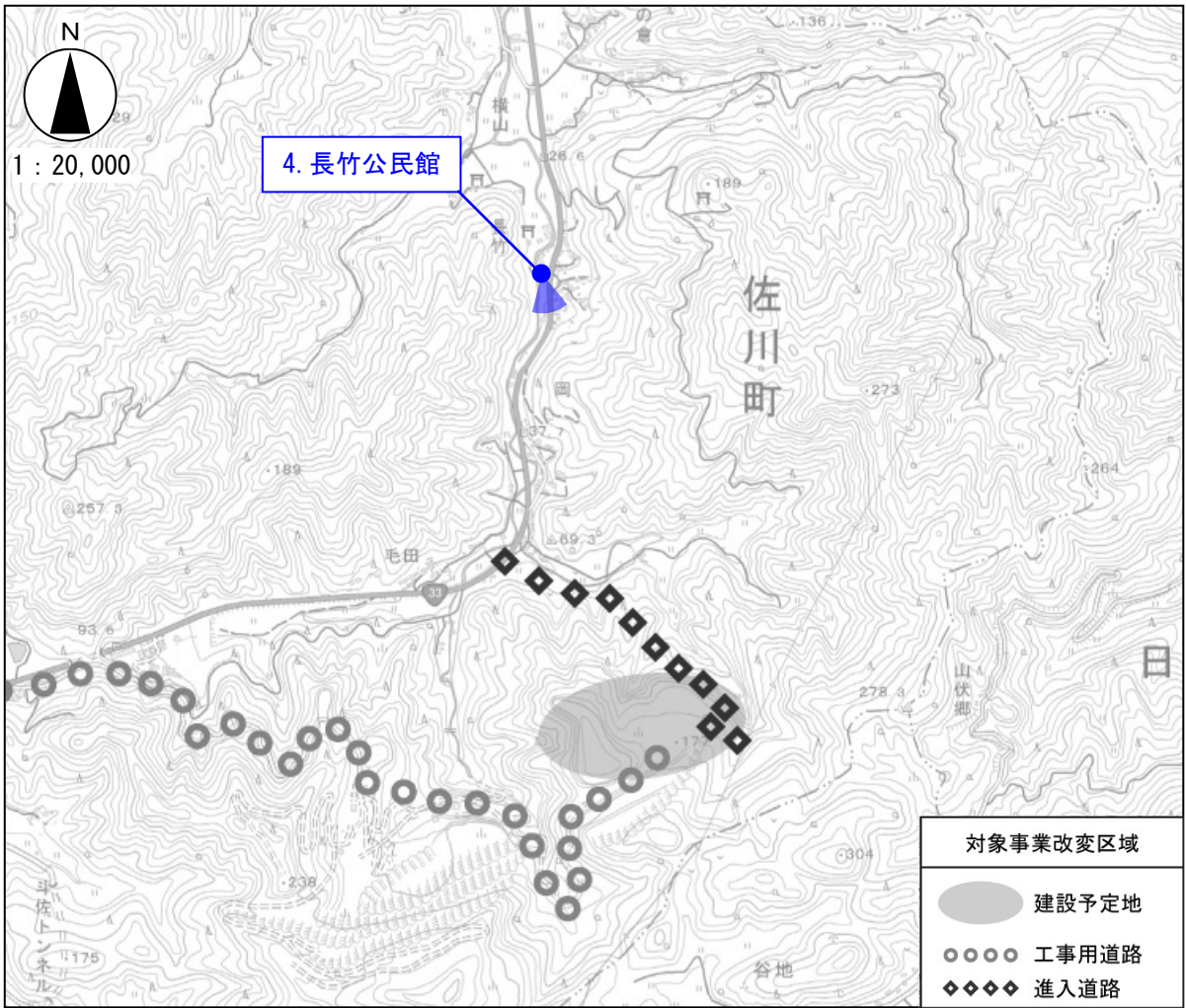



調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況		主要な眺望景観の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・国道 33 号付近にある集会所敷地の一角。 ・調査地点は、建物南面の窓からの風景が撮影できる場所に位置している。 ・地点からは、長竹・岡地区の谷津田と背景に広がる広葉樹と針葉樹が混生する樹林地が見渡せる。 		[春季] 	
主要な景観資源の状況	景観資源	<ul style="list-style-type: none"> ・長竹・岡地区の里地・里山風景 	
	見どころとなる時期	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・耕作期 	
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の憩いの場として利用され、木々や草花、耕作地が織りなす風景を日常的に目にしている。 	
	対象施設の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設（処分場、進入道路）は視認されない。 	
写真撮影の位置と方向			
		[夏季] 	
		[秋季] 	
		[冬季] 	

表 5.11.7 調査結果 (5. 谷農道)


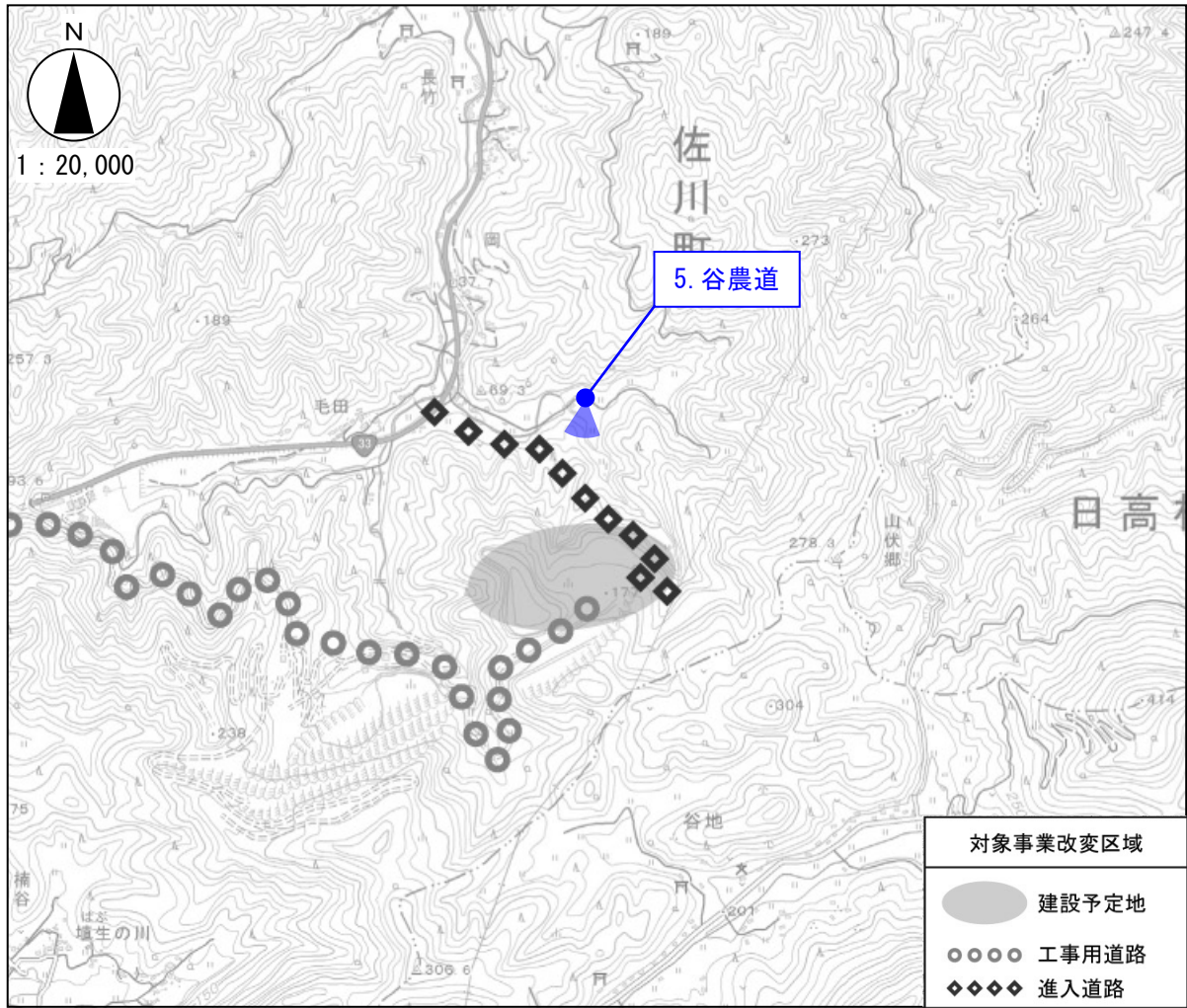
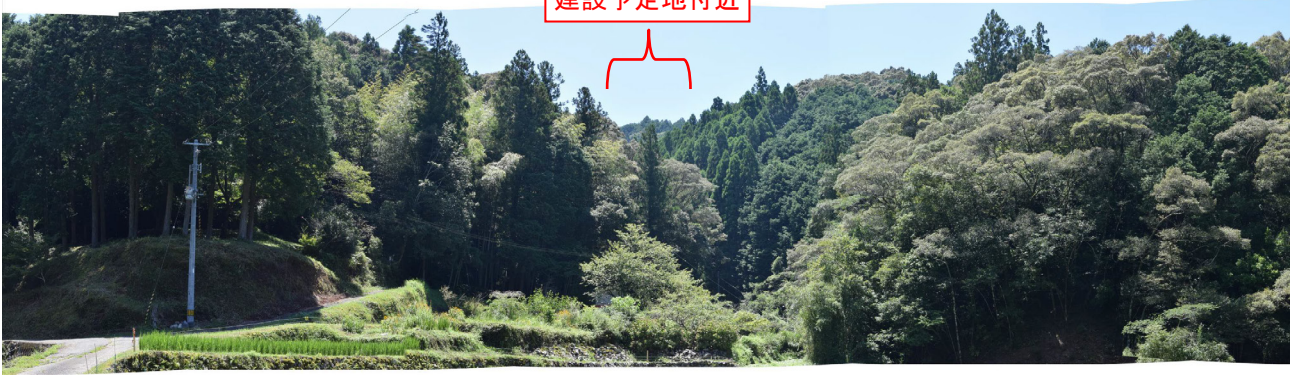


調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況		主要な眺望景観の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・国道 33 号に接続する農道沿い。 ・調査地点は、ウォーキングコースの一部をなす道路沿いに位置している。 ・地点からは、毛田地区の谷津田と背景に広がる広葉樹と針葉樹が混生する樹林地が見渡せる。 		[春季] 	
主要な景観資源の状況	景観資源	<ul style="list-style-type: none"> ・毛田地区の里地・里山風景 	
	見どころとなる時期	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・耕作期 	
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の生活道路として利用され、山地や樹林地、谷津田の日々の変化を日常風景として目にしている。 ・不特定多数がウォーキングコースを利用し、山々と樹林地の四季の変化を間近に見ることができる。 	
	対象施設の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設のうち処分場は視認されない。 ・進入道路が中景として視認される。 	
写真撮影の位置と方向			
		[夏季] 	
		[秋季] 	
		[冬季] 	

表 5.11.8 調査結果 (6.長竹集落)

調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・国道 33 号から少し離れた集落の生活道路沿い。 ・調査地点は、集落から国道へアクセスする道で、車両の通行は困難な場所である。 ・地点からは、市町村境に連なる山々と西斜面の広葉樹と針葉樹が混生する樹林地、その手前の谷津田が見渡せる。 	
主要な景観資源の状況	景観資源	<ul style="list-style-type: none"> ・毛田地区の里地・里山風景 	
	見どころとなる時期	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・耕作期 	
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の生活道路として利用され、山地や樹林地、谷津田の日々の変化を日常風景として目にしている。 	
	対象施設の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設のうち処分場は視認されない。 ・進入道路が近景として視認される。 	
写真撮影の位置と方向			
		主要な眺望景観の状況 [春季]	
		[夏季]	
		[秋季]	
		[冬季]	

表 5.11.9 調査結果 (7. 国道 33 号峠)

調査項目		調査結果
主要な眺望点の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 33 号沿い。 ・ 調査地点は、市街地と集落を結ぶ主要道路沿いに位置している。 ・ 地点からは、市町村境に連なる山々と西斜面の広葉樹と針葉樹が混生する樹林地が見渡せる。 	<p>主要な眺望景観の状況</p> <p>[春季]</p>  <p>[夏季]</p>  <p>[秋季]</p>  <p>[冬季]</p> 
主要な景観資源の状況	<p>景観資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低山地と丘陵地の混在する風景 <p>見どころとなる時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 	
主要な眺望景観の状況	<p>眺望景観の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の生活道路として利用され、山地、丘陵地の特徴ある風景を日常の一部として目にしている。 ・ 不特定多数が国道を利用し、車窓から木々の四季の変化を見ることができる。 <p>対象施設の視認性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象施設（処分場、進入道路）は視認されない。 	
写真撮影の位置と方向		
		

表 5.11.10 調査結果 (8. 県道 291 号)





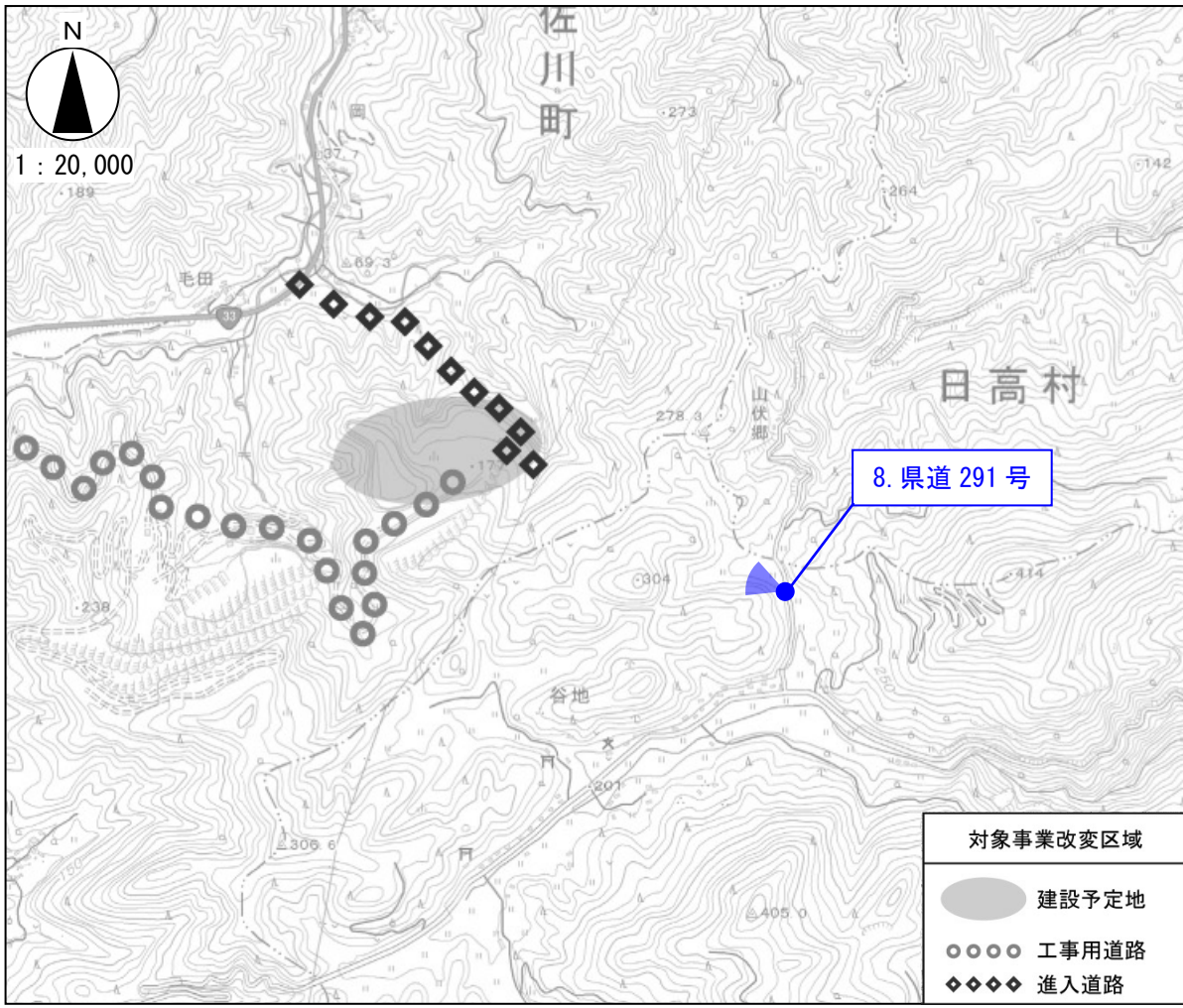



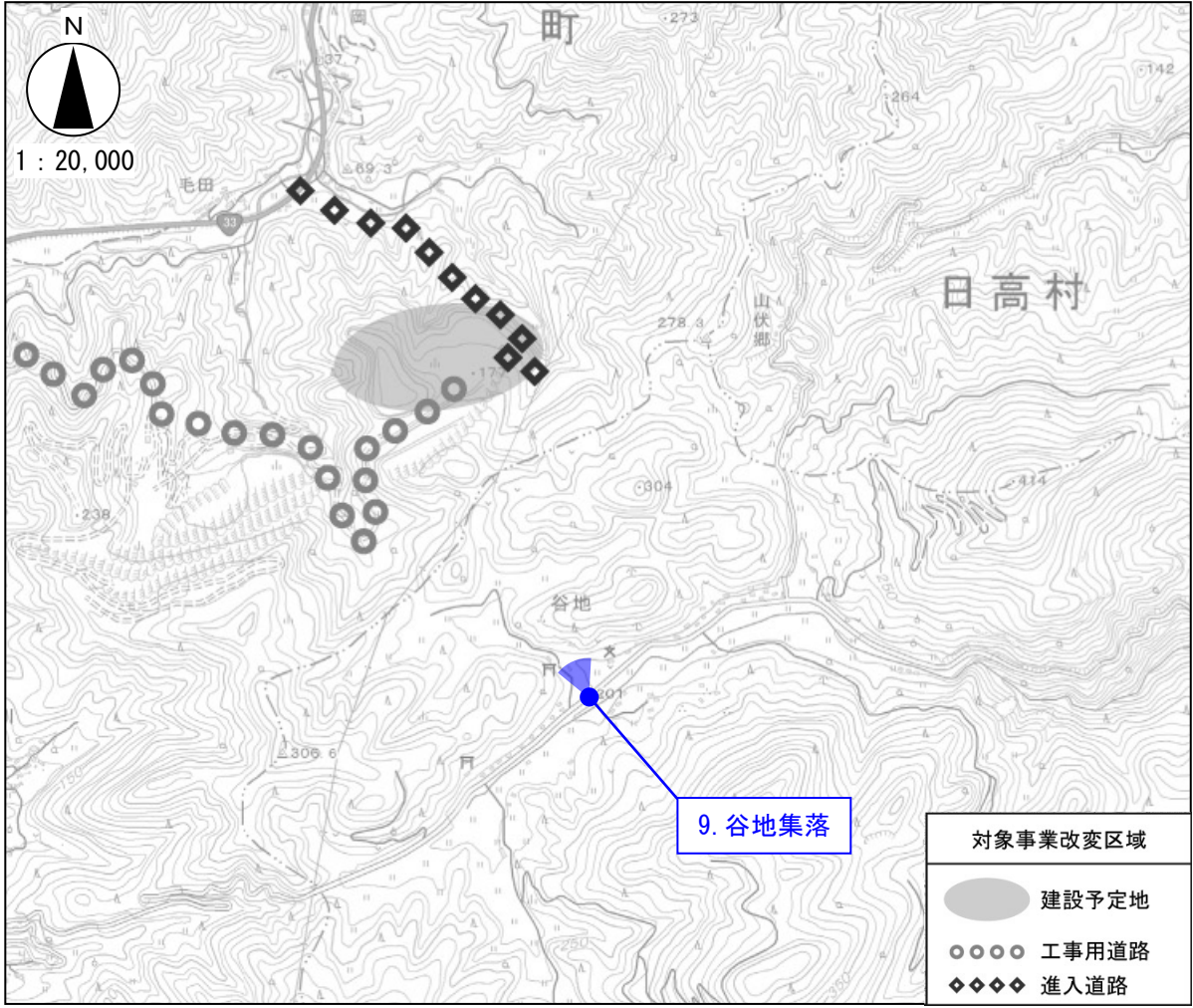

調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況 ・ 県道 291 号沿い。 ・ 調査地点は、四国のみちの一部を成す道路沿いに位置している。 ・ 地点からは、市町村境に連なる山々と南東斜面の広葉樹と針葉樹が混生する樹林地、季節に応じた耕作風景が見渡せる。		主要な眺望景観の状況 [春季]  [夏季]  [秋季]  [冬季] 	
主要な景観資源の状況	景観資源 ・ 谷地地区の里地・里山風景		
	見どころとなる時期 ・ 落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・ 耕作期		
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要 ・ 地域住民の生活道路として利用され、木々や草花の日々の変化を日常風景の一部として目にしている。 ・ 四国のみちを利用する観光客は、山々と樹林地の四季の変化を間近に見ることができる。		
	対象施設の視認性 ・ 対象施設（処分場、進入道路）は視認されない。		
写真撮影の位置と方向			
			

表 5.11.11 調査結果 (9. 谷地集落)

調査項目		調査結果	
主要な眺望点の状況 ・ 県道 53 号沿い。 ・ 調査地点は、四国のみちの一部を成す道路沿いに位置している。 ・ 地点からは、国道沿いに連なる山々と南斜面の広葉樹と針葉樹が混生する樹林地、季節に応じた耕作風景が見渡せる。		主要な眺望景観の状況 [春季] 	
主要な景観資源の状況	景観資源 ・ 谷地地区の里地・里山風景	[夏季] 	
	見どころとなる時期 ・ 落葉広葉樹の着葉期及び落葉期 ・ 耕作期		
主要な眺望景観の状況	眺望景観の概要 ・ 調査地点の集会所は地域住民の憩いの場として利用され、木々や草花、耕作地が織りなす風景を日常的に目にしている。 ・ 四国のみちを利用する観光客は、山々と樹林地の四季の変化を間近に見ることができる。	[秋季] 	
	対象施設の視認性 ・ 対象施設（処分場、進入道路）は視認されない。		
写真撮影の位置と方向			
		[冬季] 	

5.11.2. 予測評価

(1) 最終処分場の存在に係る景観

1) 予測項目

予測項目は、道路の存在に係る主要な眺望点及び景観資源の改変、主要な眺望景観の変化の程度とした。

2) 予測対象時期

予測対象時期等は、対象道路事業の完成時において、主要な眺望点の利用状況（利用時期等）、景観資源の自然特性（見どころとなる時期等）を踏まえ、主要な眺望点、景観資源及び主要な眺望景観の影響を明らかにする上で必要な時期とした。

表 5.11.12 予測対象時期

予測地点	予測対象時期
主要な眺望点	定めず
景観資源	定めず
主要な眺望景観	定めず

3) 予測手法

道路の存在に係る景観の予測は、「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）」に基づき、以下に示す項目ごとに行った。

A) 主要な眺望点及び景観資源の改変

主要な眺望点及び景観資源と対象道路事業実施区域を重ね合わせ、図上解析することにより、改変の位置、程度を把握した。

B) 主要な眺望景観の変化

道路設計図面、現況調査結果を用いて、構造物による景観阻害の有無について机上検討を行い、眺望景観の変化の程度を把握した。

4) 予測地点

景観の予測地点は、「5.11.1.(1)現地調査」の調査地点のうち、眺望点から対象施設が視認される可能性がある地点とし、表 5.11.13 とした。

表 5.11.13 景観の予測地点

番号	予測地点	対象施設との距離	地点概要
1	JR 土佐加茂駅	2.6km	多数の地域住民が利用する駅の一つ。 改札を出ると正面に田園と緑豊かな山々が広がる。
2	JR 土佐加茂駅横	2.6km	通勤、通学の不特定多数が多く通行する県道沿い。道路から南を眺望すると田園と緑豊かな山々が広がる。
5	谷農道	0.5km	ウォーキングコースの一部にあたり地元住民や観光客が利用する道路沿い。 里山が織りなす四季の景色を楽しむことができる。
6	長竹集落	0.7km	地域住民の生活の場を想定した視点。対象施設の北側に位置する。 往来時に目につく山と農耕地が作る景色で季節感を感じることができる。

※番号は、調査地点を番号を踏襲しているため、連番とならない。

5) 予測結果

A) 主要な眺望点及び景観資源の改変

予測結果は、表 5.11.14 に示すとおりである。

なお、予測にあたっては、盛土部、切土部の法面を緑化して周辺景観と調和させる計画であることを前提とした。

表 5.11.14(1) 予測結果（主要な眺望点及び景観資源）

予測地点		概要
主要な眺望点	1. JR 土佐加茂駅	予測地点は最終処分場から 2.6km 離れており、事業による改変はないため、眺望点の利用性等に影響はないと予測される。
	2. JR 土佐加茂駅横	予測地点は最終処分場から 2.6km 離れており、事業による改変はないため、眺望点の利用性等に影響はないと予測される。
	5. 谷農道	予測地点は進入道路から 0.5km 離れており、事業による改変はないため、眺望点の利用性等に影響はないと予測される。
	6. 長竹集落	予測地点は進入道路から 0.7km 離れており、事業による改変はないため、眺望点の利用性等に影響はないと予測される。
景観資源	里地・里山の風景 (身近な景観)	処分場関連施設（最終処分場、工事用道路、進入道路）は、里地・里山の風景内を一部改変する。ただし、周辺には同様の里地・里山の風景が広がっており、改変範囲はごく一部となるため、景観資源への影響は極めて小さいと予測される。

表 5.11.14(2) 予測結果 (主要な眺望景観の変化)

番号	予測地点	概要	主要な眺望景観	
1	JR 土佐加茂駅	<p>最終処分場による主要な眺望点の改変はなく、景観資源の改変もごく一部となる。主要な眺望景観については、遠景となり、視野角に占める処分場の割合は極めて小さく、仰角も小さいことから圧迫感はなく、処分場は景観のごくわずかとなる。また、植生の復元によりスカイラインの分断はない。</p> <p>以上から、最終処分場の存在による影響は極めて小さいと予測される。</p>		
2	JR 土佐加茂駅横	<p>最終処分場による主要な眺望点の改変はなく、景観資源の改変もごく一部となる。主要な眺望景観については、遠景となり、視野角に占める処分場の割合は極めて小さく、仰角も小さいことから圧迫感はなく、処分場は景観のごくわずかとなる。また、植生の復元によりスカイラインの分断はない。</p> <p>以上から、最終処分場の存在による影響は極めて小さいと予測される。</p>		
5	谷農道	<p>最終処分場による主要な眺望点の改変はなく、景観資源の改変も一部となる。主要な眺望景観については、進入道路が近景となり、ディテールが目につく可能性がある。しかし、視野角に占める処分場の割合は小さく、仰角も小さいことから圧迫感はなく、植生の復元により処分場関連施設（最終処分場、進入道路）は遮蔽され目視されない。</p> <p>以上から、最終処分場の存在による影響は極めて小さいと予測される。</p>		
6	長竹集落	<p>最終処分場による主要な眺望点の改変はなく、景観資源の改変も一部となる。主要な眺望景観については、進入道路が近景となり、ディテールが目につく可能性がある。しかし、視野角に占める処分場の割合は小さく、仰角も小さいことから圧迫感はなく、盛土法面や切土法面は植生の復元により遮蔽され目視されない。</p> <p>以上から、最終処分場の存在による影響は極めて小さいと予測される。</p>		

6) 環境保全措置の検討

最終処分場の存在による主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観への影響について、事業の実施による影響を、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減するため、対象施設の詳細な位置及び基本構造の検討段階から、可能な限り直接的な改変がないよう配慮するとともに、被覆施設の高さを極力低く抑えることで、環境影響を回避又は低減させた計画としている。

予測の結果、全ての予測地点で、景観への影響は極めて小さいと予測されている。従って、個別の環境保全措置の検討は行わないこととした。

なお、現段階で予測し得なかった著しい影響が見られた場合には、環境に及ぼす影響について調査し、必要に応じて適切な処置を講じる。

7) 事後調査

予測手法は、その予測精度に係る知見が十分に蓄積されていると判断でき、予測の不確実性は小さいことから、事後調査は実施しない。

8) 評価

A) 評価手法

景観の評価は、環境影響の程度を踏まえて、事業者の実行可能な範囲内で回避され、又は低減されており、必要に応じてその他の方法により環境保全についての配慮が適正になされているかどうかについて、見解を明らかにすることにより行った。

B) 評価結果

対象施設の詳細な位置及び基本構造の検討段階から、主要な眺望点及び景観資源の改変、主要な眺望景観の変化に関しては可能な限り直接的な改変がないよう配慮することで、環境影響を回避又は低減させた計画としている。

以上より、事業の実施による影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されていると評価した。